



児島恵美子

Emiko Kojima

Medisere
児島恵美子
プロフィール

神戸薬科大学卒業。武庫川女子大学大学院薬学修士号取得。名古屋商科大学経営学修士号取得(MBA取得)。認定薬剤師。認定スポーツファーマシスト。内閣府認証心理カウンセラー。2007年(株)メディセレを創設。2008年メディセレ教育出版(株)創設。2015年(株)メディセレキャリア創設。メディセレ薬局開局。NPO法人医療心理学協会理事。

最強のリケジョ 「始まりはマイナス体験から!」

リケジョ。よく耳にするようになってきた言葉で、いわゆる理系女子のことである。女子は文系、男子は理系と少数派であった理系女子の活躍が最近ぐましくなったからだ。そんなリケジョの代表の一人といえるのが児島恵美子氏だ。彼女は薬学部出身の薬剤師に留まらず、子供が小学校にあがるときに起業し、学校を起ちあげ、7年の間に大阪・東京・名古屋・神戸に開校し、今年の生

徒数は1000名を超えた。春には5校目の東京ベイ浦安校も開校するという、新進気鋭の経営者でもある。先日の2月28日、3月1日に第100回薬剤師国家試験が終了した。薬学部が6年制教育になって4度目の国家試験だ。折からの薬剤師不足に加え、薬学部は女子に人気の学部であったため、薬学部を増設する大学が増え、46大学から74大学にまで増えた。さらに

4年制から6年制になったことと18歳人口の低下の影響を受け、狭き門であった薬学部が急に広き門となった。しかし、門戸は広がったが、薬剤師になるためには国家試験に合格しなければならぬ。この最後の関門を超えるための学校が、児島氏の薬剤師国家試験予備校「メディセレスクール」である。

何故この事業をすることになったのか? 「実は私が国家試験に落ちたのです」と笑顔で語る。「図々しいのですが、自分が落ちるなんて思ってもいませんでした。当時、国家試験に落ちる人は本当に少なく、就職は決まっていたのですが、薬剤師ではないので現場も私の扱いに困ったと思います。友人も連絡しづらくなったようで、家でも居心地が悪かったです。好きで国家試験に落ちる人なんていません。でも、落ちるとこんなに居場所がなくなるのか!という現実を知り、薬学生が私のような思いをしないための教育をし、再受験する子には居場所を創ってあげたいと思いました。そう、始まりは自分のマイナス体験なのです」。笑顔の下に熱い情熱が垣間見える。「人生に無駄な経験はありません。人は誰でも転ぶものです。でも、時間がかかろうとも、そこから立ち上がれば、それは良い経験となります。私なんて転んでばかりですよ。でも、だからこそ、今の私があります。その度にこの感情を、



リケダン、リケジョが熱心に聞き入るメディセレ直前講習会

思いを、無駄にするまいと思っています」求人広告には「薬剤師時給3千円」という文字が躍り、有効求人倍率も7倍前後(※)といわれているが、「医療は日々進歩しています。その最前線を知る一方で、超高齢化問題を薬剤師として支えていくために、6年制となったこれからは、正念場です。今、勉強を暗記と勘違いし、考えることをやめ、考える機会を失った大学生が増えています。今後の薬剤師国家試験は難しいと思います。だからこそこの機会に国家試験の勉強を通して、知識だけでなく、「薬学的知恵」を持った薬剤師を世に誕生させることが私の使命だと思っています」と語る児島社長。最強のリケジョのもとで、魅力的なりケダン、リケジョが多く誕生することを確信した。

※厚生労働省職業別一般職業紹介より 医師・薬剤師有効求人倍率

問い合わせ: メディセレスクール <http://www.medisere.co.jp/>